

歯科医師会だより71号

皆様のご協力のおかげで総会が無事終了しました。この場をお借りして執行部を代表して心より感謝申し上げます。特にお忙しいところ2月の臨時総会に続き今総会でも議長を引き受けていただいた山家先生には大変お世話になりました。本当にありがとうございます。山家先生には2月の役員会に出席していただき臨時総会への準備をさせていただきました。その時「歯科医師会だよりを読んで役員の方大変そうだな～と思っていたけれど、実際役員会に出たらやるのがいっぱいあって本当に大変なのがよく分かった。僕が手伝えることがあればやるから遠慮しないでくれ。」と温かいお言葉をいただきました。また4月の役員会では山家先生の他に、新しく選挙管理委員会委員長に就任した笹島先生にも出席していただきました。後日電話で話したときに「会長、私は先日の役員会に出席して、役員の方々が私たち会員のために毎月2時間以上も真剣に議論しているのを目の当たりに見て感動しました。そんなことも知らずにのうのうとしていた自分が恥ずかしいです。何かあれば声をかけて下さい。お手伝いしたいと思います。」と言われました。少しオーバーだなとは思いましたがお二人の言葉は無茶苦茶嬉しかったです。難題の多い仙南歯科医師会ですが、このような暖かい言葉を活力にして今年度も新執行部一同頑張っていきたいと思っております。

仙南歯科医師会会長 千木良 尚志

令和5年度 第5回仙南歯科医師会総会

令和5年4月26日(水) 18:00-20:15

ホテル原田 in さくら

参加者：44名

次 第

1. 開会 副会長 目黒 一美

2. 議長選出

議長 山家 仁 先生

臨時総会に続きまして議長を務める山家です。宜しくお願いします。コロナの関係で2時間くらいという事で、皆様のご協力を宜しくお願いしたいと思います。

3. 挨拶 会長 千木良 尚志

皆さんこんばんは。2ヶ月前の臨時総会も対面でしたけれども、今しか対面はできないかなと。8月の定例会は暑気払いもかねて皆でビールを飲みたいなと思っていましたが、もしかすると第9波がくるかもしれないということで、本日お時間がある方は懇親会に参加して頂いて、新執行部初年度の懇親を深めたいなと思っております。今日は協議の方で色々問題になっていることがございますので、皆さんからの忌憚のないご意見をお願いしたいと思います。本日は宜しくお願いいたします。

4. 役員紹介 飯淵 信也

資料 p35 参照

- ・ 榊原伊織先生が退任し平井丈斗先生が理事に入った。
- ・ 今期は各委員会の委員長の兼任をなくした。

5. 報告

1) 令和4年度会務報告 飯淵 信也

資料 p3~ : 昨年度会務報告

資料 p9~ : 昨年度事業報告

コロナの関係上、ハイブリッド開催が多かった。表彰関連について報告 (p11)。

2) 各支部報告

①柴田 小田部 晃二郎

3月29日に定例会を参集型で開催したことを報告 (別冊 p1)。役員改選があり吉田鐘一先生が副支部長を退任し小屋博先生が就任したことを報告。その他詳細については歯科医師会だよりに記載。

②白石 小野 貴志夫

4月20日に支部総会を行い、役員は同じ。詳細は歯科医師会だよりに。5月の役員会で説明したい。

③角田 目黒 一美

4月8日に3年ぶりに支部総会を開催。人事について協議がなされ、副幹事に関根直輝先生が就任。年に3回、会合を開く予定 (3月、7月、11月)。

3) 会長 千木良 尚志

宮歯から令和5年度宮城県歯科医師会歯科健診事業の協力医療機関の登録の通知が来ていると思うが、わからなかったら支部で教えるので聞いてほしい。色々ネット上でやるようになってきているが、支部の方で教えたり助け合いをしていくので宜しくお願いしたい。

4) 副会長

小田部 晃二郎

代議員会と連盟評議員会について、書面決議による縮小の開催であったと報告、詳細は宮歯会報に。

目黒 一美

日本歯科医師会予備選挙で幹事に細谷仁憲先生が立候補。定数内のため内定。

佐藤真奈美先生が宮城県歯科医師会副会長に就任されたニュースに引き続き、日本歯科医師会理事の続投が定数内のため内定。

厚生省から補助金がまたくる。宮城では69億1500万円くらい。乗り遅れないようにしましょうということ。

国民皆歯科健診の実現を求める意見書について、20くらいの県から要望書が出ている。昨年度の骨太の方針に明記されている。宮城もこれに取り組むかということで動き始めている模様。

5) 宮歯理事 井上 大一

資料別冊 p2 に記載の通りと報告。

6) 宮歯常務理事 小田部 岳雄

IT化について：宮歯が様々な手続に対応できない先生方について検討。各支部にアンケートを出して状況を把握し対応を検討する。

佐藤勝先生と柏崎潤先生がご逝去されたことに対し、お別れの会を秋くらいに予定。

青申関係：電子帳簿保存法について宮歯会報に資料を載せる。

7) 専務理事 飯淵 信也

仙南歯科医師会の現況について報告 (p2)。終身会員については p41 に記載。

終身会員は仙南では75歳に達した会員の先生、宮歯では在籍30年・満70歳。

小田部洋平先生が準会員から正会員になったことを報告。

山本雄大先生が丸森病院での会員→開業に伴い退会したことを報告。

鎌田すみ子先生が死亡退会となったことを報告。

p35 の役員名簿について：宮歯関連に関しては6月までは現在の先生方が役員になられている。

代議員会：3月25日に開催。議案はすべて可決されている。

p41 の組織構成図について：執行部で編成会議を設け、作成したことを報告。

7月1日に岩沼歯科医師会と合同役員協議会を開催予定。今年度は岩沼主催。メンバーは会長と専務で決めて参加予定。

8) 各種委員会

○社保・清原憲先生

厚労省の資料：原則オンライン請求に移行する流れで、まだ正式な通知ではないが来年の9月末までと出ている。

○地域保健・飯淵信先生（前田先生欠席につき）

令和4年度の休日当番医制事業実績について報告（p50-52）

施設協力医の協力金についてのアンケート：資料をメーリングリストでまわすので出来る限りメールで返信をお願いしたい。

令和5年度の歯と口の週間行事について（p54）：例年6月開催だが、川崎が担当で川崎町の行事に合わせた形で行う予定となり、今年度は11月に行う。

柴田2・白石1・角田1で輪番制で回す。前年度の地域保健委員会でも了承済。但し来年度再来年度については柴田支部で執り行う。各支部の先生方にも協力してもらい大会を継続事業として行うようになっていくので、協力をお願いしたい。

○在宅・武者先生

p38 の介護認定審査会柴田支部の名簿に訂正あり（訂正の紙が挟んである）。

令和4年の訪問歯科診療の状況について報告（p49）

9) みやぎ県南中核病院口腔外科（伊藤正先生）

特に変わりなし。入院前のコロナ検査は5月いっぱいまで、6月からはなくなる。

千葉先生が大学を辞めたが、週に2回大学に来ている。中核病院には月1回、第2水曜日の午後に若手の先生（高山先生）が来ている。引き続き君塚先生の元で登録医の先生（小番先生）が診療に従事している。

10) みやぎ訪問歯科・救急ステーション（奥田先生）

体制に変更なし。

11) その他

（榊原先生）村田町の学校保健会の評議員が吉田和男先生から私に変更になった（p40）

（小田部岳先生）柴田町のフッ化物洗口事業が開始。10月から4歳児を対象。柴田からは私と小屋先生が担当。健康しばた21に歯科健康保健条例が令和7年から組み込まれる。私と小屋先生と玉野井先生と平井丈斗先生で担当する。

6. 議事

1) 第1号議案

○令和4年度一般会計、共済会計ならびに特別会計収支決算の件 会計理事 菅野 真人
（p17-22）

収入・特別会費：コロナが落ち着いてきて参集型が増え、懇親会で3,000円集めたもの。

収入・県歯関連助成金：以前は特例措置で3地区分だったが、令和4年度からは1地区分。

収入・国保助成金：ボーリングをやっていないためなし。

支出・会議、事業費：定例会、総会、各種委員会などコロナが落ち着いたとはいえ減少。

支出・雑費：令和4年3月16日の地震被害の共済金57万円が含まれている。

○令和4年度会計報告 監査報告 監事 小野 貴志夫 玉野井 修

(p23)

質問（遠藤先生） 厚労省委託事業についての金額が収入と支出で金額が違うのはなぜか (p18,19)。

回答（菅野先生） 実際に振込まれたのがこの金額（260,800円）で、各医院に実績に合わせて決まった額を振り込んで差額が発生している。手数料など、そういうものだと認識している。

※賛成多数にて第1号議案承認

2) **第2号議案** 令和5年度事業計画に関する件 専務理事 飯淵 信也

(p24-29)

※賛成多数にて第2号議案承認

3) **第3号議案** 令和5年度一般会計、共済会計ならびに特別会計収支予算の件 会計理事 菅野 真人

(p30-33)

支出・役員報酬：理事の人数に変更あり。

質問（真壁先生） 予算の中で予備費が半分以上あるのはおかしいのではないか。会計上、予備費を特別会計に入れてはどうか。今年の決算だと約50万円プラスだが、予算だと繰越金から予備費を抜くと130万減っている。そうなるとどんどん減っていくのかなど。全部決算で消費することはないと思うが、中身の見直しのようなもの・将来的な事業の展開の検討なども含めて、そこらへんどうか。

回答（千木良先生） 法人化になると予備費は事業費の何%と決まっている。今は日本国もそうだがコロナがあるから予備費を多くとっている。岩沼も予備費を多くとっており、塩釜とか石巻、仙台は法人だから決まっている額になっている（2%との声あり）。法人化の可能性が当然まだあるので、そこで検討したい。今年はとりあえずこれで行こうという形で。来年度もしくは再来年度に法人化になった場合は、ここは考えていかないといけないとは執行部も思っているので、ご助言ありがとうございます。

予備費がいくらかというのは、どういうことに予備費を使うかという可能性～コロナとかがまだどうなるか分からないので、予備費がどのくらいあったらいいか・何%がいいのかというのは社会的な状態を含めたものをみて考えたいと思う。

あとは災害で、仙南歯科医師会が発足してから玉野井前会長時代も丸森の台風被害など色々なものがあった。今回の地震の助成金も共済金で一般会計から支出している。今後高齢化にともない共済金がどんどん増えてしまう。毎年集めなければならず、去年が5千円、今年度が1万円になってしまっている。ある程度それを予備費から出せれば、皆さんの共済金を毎年たくさんもらうことなくできるのかなど。その辺のことで予備費をどこまでおくかが難しい。共済金が今回1人1万円で72万円いただくが、執行部としては玉野井前会長の頃から一般会計からある程度共済金を出すのは考えてやっている。その中で予備費が減っていくというのはあると思う。その辺は無駄には使っていない。もし予備費から共済のほうに使わないとすると、1人あたり1万5千円くらい補填していただかないと共済金が増えてしまう。だからなるべく余裕のある一般会計から共済金の方に繰り越してやっているという努力はしている。

（真壁先生） 突発的なものは理解できる。今回一般会計から出したのは、それはそれで正解だったと思う。今、仙南歯科医師会として白石を事務所に使っているが、場所的に白石ははずれなのかなと思う。将来的に何かがあった時（何か施設などができる時？）にどこかに部屋をとる（行政と交渉して）というふうな考えも持っておくべきだと思う。行政とお金の話になった時には、こちらも（お金を）持っていないといけないのではないか。

※賛成多数にて第3号議案承認

4) **第4号議案** 宮城代議委員等選挙に関する件 選挙管理委員長 笹島 ちさと

(笹島先生) p 34

※賛成多数で第4号議案承認

7. 協議

1) 法人化に関して

(玉野井先生) 別冊資料 p4,p5

定款の検討：高齢になり廃業して仙南以外に住む会員なども出てくる。仙南で歯科医業もやっていないし仙南にも住んでいないといった歯科医師が出てくるので、定款を作る時には訂正が必要になると思う。

会長選挙：会長選挙→理事選出ではなく、理事選出→その中から会長選挙にしなければならない（宮歯は予備選挙という形を発明）。

定例会とは：定例会の位置づけを定款に。

(真壁先生) スケジュールはどうなっているのか。

(玉野井先生) まずするかどうかはまた別の話だが、この任期中に仕上げたいと会長も思っているのではないかと認識している。

(千木良先生) 反対意見は一応ないが、ある程度条件が分かった上での賛成でないといけない。別冊資料 p4 に 70 万前後の維持管理料とある。支部助成金 70 万 5 千円（資料 p31）が支部にとって必要でなければ法人化のランニングコストにも充てられる。そういうことも協議しながら金銭的にも皆さんに負担がかからないようにして、こんな条件でどうかというのを提示した上で賛成いただければと思う。この1年かけて、できれば来年の総会で賛成多数で可決して一気に進んでいきたいと個人的には思っている。

2) 仙南歯科医師会ホームページに関して

(武者先生) 別冊資料 p6

ホームページに他に記載したい内容などがあれば伺いたい。

(玉野井先生) 法人の公告について（別冊 p5）：司法書士さんにホームページに載せるのがいいと言われていたが、岩沼歯科医師会の定款を読むと「公告は歯科医師会室の見えやすいところに掲示」と書いてある。今後、武者委員長と連絡を取り合い役員会に提示していく。

(山家先生) 別冊 p6 の「行政対応や会務に知見のある先生に実行委員会に入ってほしい」とあるが。

(武者先生) この会のあと挨拶に行きますので引き受けていただけるとうれしい。

(武者先生) e-FAX について：PC から FAX 送受信できる。月額 1,800 円くらい。詳しく調べてまたご提示したいと思っている。

3) 支部助成金に関して

(千木良先生) この支部助成金というのを、どうしてもないと困るのでなければ今年度限りでやめて法人化のランニングコストに充てたいという意見が出ている。会計監査の方でも、この支部助成金はいつまで出すのかという意見も出ている。会計の菅野先生も報告したが、もう（宮歯の）支部助成金は1支部ぶんしか出ていない。仙南歯科医師会ができた時から各支部に配っている助成金なので、3分の1になってもいいのではないかという話を玉野井先生にきいたところ、各支部事情があるだろうし事業継続にお金が必要なので、仙南歯科医師会に会費を払っているのに支部でも会費をたくさん取るのはどうかと思うからそのためにあるんだという意見を伺った。白石支部で総会があったが、ほとんど事業をしていないため 50 万くらいお金が余ってしまう。そのうち 20 万 5 千円が支部助成金ということで、果たして毎年必要なのかなと、他の支部はどうなんだろうかと意見が出た。皆さんの率直な意見を伺いたい。

(山家先生) 各支部の先生お願いします。

(小田部晃先生) 柴田支部：支部としては大変ありがたい予算である。当支部ではコロナ禍後、年会費の徴収を中止している。そのため、この支部助成金がほぼ全ての収入という中で活動している。仙南歯科医師会の事情もよくわかるので、これをまるっきりゼロということではなく多少減額など、幾ばくかの助成金をいただけると支部活動にも弾みがつくのではないかと思う。

(目黒先生) 角田支部：合併前は年会費 5 万円で運営していた。仙南歯科医師会となり 6 万円となった。事務局員を年間 10 万円で雇用していたところを 5 万円に減額して活動してもらっている。コロナで活動がなかったところからコロナ明けで(活動が再開するなかで) 支部助成金がなくなると新たな増額を会員にお願いしなければならないのかなと思う。

(小野先生) 白石支部：私個人の意見とすると、仙南歯科医師会の会費(支部助成金)と白石支部の会費があると会にとっては楽であるため、いただけるならいただきたい。コロナの影響で新年会・忘年会を開催していない。個人的には忘年会・新年会に充てたい。法人化委員としては、法人の運営費をどこから出すかまだ正式に決まっていなくて、なんともいえないのが現状。

(山家先生) 各支部ともコロナで活動されていなかったため予算が余っているという状況なのかなと思う。執行部一任でよろしいでしょうか。検討でしょうか。

(千木良先生) ひとつ言えることは、3、4年は会費を値上げしないで法人化のランニングコストがあってもできると思うが、そのあとは会費の値上げかもしくは、休日診療の当番から事務手数料として1日につき5千円・年間1万円もしくは1万5千円をいただく(岩沼でやっている)。新年会は支部ではやらないときいていたが、(支部助成金が) 飲み代にかかるのかとなると、会に出ない方や懇親会に出ない方は恩恵を受けない。更に休日当番から5千円ピンハネされるのかという言われ方をしたくない。8月の定例会でも皆さんと相談したい。

(小野先生) 終身会員になると会費が徴収できないというのがある。例えば白石支部の2030年を検討すると、千木良先生がちょうど70歳になる頃だが、70歳以上が14名、60~70が5名、50代が1名となる。そういう状況で会費をあげるというよりは、休日診療から、診療をやっている方からいただくという形がベターなのではないかと個人的には思う。

(千木良先生) まだだから何も決まっていない。そういう考えがあるということ。しかし菅野先生にも言われたが、このまま終身会員が増えていって入会する会員がいなければ、仙南歯科医師会自体が20年後くらいに立ち行かなくなる。今後渡邊先生のように入会してくれる会員がこれからののかということ。あとは2世を会員に入れるとか。あとは現在入会金が特別会計に入るが、例えば100万円の入会金を50万円にして、残りの50万円を一般会計に入れられるように年会費を2万円増額して25年間払ってもらう形や5万円にして10年間払ってもらう形など、いろいろな手がある。仙台などは12人の新入会員を想定して入会金を一般会計に入れている。仙台支部は1200万の一般会計が年会費と別にある。何らかの打てる手は打ったほうがいいと思う。どうやったら不公平感がないか、皆さんの忌憚のないご意見を伺いたい。

(山家先生) 執行部の方で検討の上、定例会などでまた協議として出していきたいと思う。

4) 障がい者事業に関して(アンケート調査を踏まえて)

(飯淵信先生) 別冊資料 p7-13

これまではソフト事業とハード事業を検討していたが、ハード事業の保険センターを設立するとか機材を購入するとか、それは難しいというところもあったので、ソフト事業：人材育成だけでもできるかどうか、そういったことも要望として書いて意見を出させていただいた。仙南歯科医師会としてはソフト事業：人材事業をもしやるにあたってアンケートを3月27日に会員全員にファックス調査を行った(p11,12)。研修会が開催された場合の参加可能な先生が23人もおられた。もちろん制約はあると思うが、千木良会長と想定していた人数をはるかに上回る数であったので、検討の余地があるかなと。

(千木良先生) 自分たちの支部の人間がどのくらい参加するのは重要。石巻では2割、大崎では3割。仙南は80人くらいいて24人が出るという。僕と専務を含めると26人になる。3割以上の人間は皆熱い気持ちを持っているのだなと。3割の人間が賛成ならやる価値はあるかなと。ただこれは3年間の事業。

支部以外の先生からも募集が来るので、どこでやるのかなど考えなければいけない。8月の定例会で議案にしたいと思うので検討をよろしくお願ひしたい。

(山崎先生) 専務と会長から受けた質問で、①人材育成事業と設備整備事業が表裏一体のものなのか、②延期はあるのかと、いうことを県保健支部に問い合わせたところ回答がきた。

① 表裏一体のものではない。ただしその比重や地区の状況もある。大崎ではまずは障がい者からの歯科診療に対する相談窓口を設けてステップアップしていこうと、執行部や会員の状況を考えていこうとのことで、柔軟性をもたせた。

② 延期はない。基金を利用しているため。再度提案があった場合、各法人から基金に申請が通って事業が通れば可能でしょうということ。ただし今のところ地域医療介護総合確保基金はいつまで続くかわからない基金(消費税増税分が充てられている)なので、新たに採択されるかどうかというのは保証できるものではないが、申請されれば処理することはできるとのこと。予算的には宮歯と各地区の共同事業という形だが、人材育成事業については全額宮歯の事業になる。他の支部からの参加も可、衛生士も可、行政も可、他職種も可能というふうに間口を広げることで全県の事業と考えて支部からの持ち出しはない。会議や打ち合わせについても宮歯の規定に則って予算が出る。会場費も同様。設備整備に関しては各地区の財産になるため、覚書を取り交わして設備資金の1/3を地区で負担。

(山家先生) 今聞いていてもちょっとわかりにくいところがあるし、不安がある。

(千木良あ先生) アンケートに応えるような形の情報が必要と思う。障がい者歯科学会の理念で「本学会は“学問”大学・大学研究者と“臨床”歯科医師会活動・開業医が両輪となってお互いが向上して行くことで成り立っています。そこで世界でも類稀な歯科医師会を中心とした地域医療活動と国民の皆様との橋渡し役となり、より内容の充実を図りながら障害者のQOLの向上に少しでもお役に立てるよう努めて参ります」というふうにある。こういったことを踏まえ、そういうような理念が宮城県歯科医師会や宮城県の行政側にあるのかどうか。そういった説明がバックボーンとしてないので、質問しようにもどう障がい者を相手にどうしようとしているのか読めないというのが、もしかしたら歯科医師会の会員の皆さんの率直なところではないかなと感じている。別冊資料p7に「仙台医療圏では大学など整備されているが、他の地方3医療圏では皆無」というふうに書かれている。大学病院と同じような機材を揃えて全麻してやるというのが障がい者医療にとっての最終形の一番いい姿なのか、というふうに度々申し上げているが、そうすると予防の観点もなければ支援の観点もなくなり、今回問題になっていた障がい児の家族や教育関係との連携がないところで話が進められてしまうと思う。もうちょっと情報をいただくということと、私も学会での障がい者歯科に関する情報はなるべく皆さんにお伝えしたいと思う。代議員としてこの事業を推進したいと思っているが情報が足りなさすぎると感じるので、どうかよろしくお願ひします。

(山崎先生) 私らも障がい者歯科に関してはそもそも情報不足・勉強不足というものもあるので、皆で研修していったそれを知ろうというところから始まるというのが石巻も大崎も同様だった。障がい者歯科学会と連携して情報不足を埋めていきたい。少なくとも全麻が最終ゴールということではない。地域の障がい者の人たちが困ることがない相談窓口、あるいは第2次医療機関・第3次医療機関とのキャッチボール関係をしっかり構築するということの方がむしろ重要なのではないかな。施設設備ありきや全麻・静脈鎮静ありきということをしているわけではない。

(榊原先生) 人材事業と設備事業をセットでやらないと宮歯の負担金がなくなるということはないのか。

(山崎先生) セットではない。2つの事業があるということ。人材事業の1/3は宮歯が負担、残りは国の基金。設備事業の1/3は(地区の財産になるため)地区の負担、残りは国の基金。(事業を)片方だけでもいいと思う。

(榊原先生) わかりました。大元はやはり国なのですね。ありがとうございます。

(山家先生) 千木良先生からも情報不足というのがありましたので、メールでどんどん流していただいて、8

月の定例会に議案として検討していただければと思います。

5) その他

(飯淵信先生) 例年ここで仙南歯科医師会への要望を聞いているが、時間の関係上削除している。要望があったら FAX・メールで伺いたい。よろしくお願いします。

8. その他

(大沼先生) しばらく前にドクターやスタッフに殴りかかり逮捕された方の情報があったが、その後釈放されているとのことで、その方の情報をお教えいただきたい。

(山家先生) メールでも報告はあったのですが、船岡中央歯科の渡邊先生、お願いします。

(渡邊先生) あまり大っぴらには言えないが、59歳の女性、イニシャルが S・K、保険証が母親の名前になっている。詳しく知りたい方は個人的にお願いします。

(相原先生) 後期高齢者の検診の申し込みを何であんなに面倒にしたのか。来年からはもっと簡単に申し込みできるようにしてほしい。

(山崎先生) 行政とか全てが今年度からは google フォームや QR コードになっている。世の流れと思ってほしい。もちろんサポートはするため、何とかご協力をお願いします。

※敬老祝金が代表して飯淵雅高先生に贈呈された (p32 参照)。

9. 閉会 副会長 小田部 晃二郎

長時間にわたりご協力賜りまして誠にありがとうございました。予定していた時刻を若干超過いたしました。無事に第1号から第4号議案まで承認いただきました。誠にありがとうございました。私どもの執行部も2期目に入りまして益々頑張りたいと思っております。思い起こせば今年の総会と同じ会場ではございましたがハイブリッド開催ということで、大変苦勞しながら開催をした覚えがございます。それがこうやってまた直接皆さんにお目にかかってお話を伺えるということで、大変嬉しく思っております。今日もドキドキワクワクしながら会場にやってきました。本当にありがとうございました。暦を読ませれば「穀雨」ということで、春雨が百穀を潤すということでこの雨も恵みの雨と思えます。次に皆さまにお目にかかるのは8月の定例会ということになるわけですが、社会情勢が許す限り、皆さまのお元気なお顔にお目にかかることをご祈念申し上げて、第5回仙南歯科医師会総会を終了致します。ありがとうございました。

(議事録 総務 亙理瑛)

【編集後記】

向暑の候、先生方におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。今年のゴールデンウィークはコロナ禍前の状況に戻りつつあるように感じました。私も家族(親)と県内の観光地に行き、交通量はうんざりするほどでしたが、人手でもあり陽気に恵まれたおかげか観光を楽しんでいる気分になりました。

5月8日になると新型コロナウイルス感染症が5類相当になります。そこで診療所では今まで行ってきたコロナ対策をどのようにするかが悩ましいところであると思っております。私の場合はすぐに何かを変更することはなさそうですが、5類相当になった環境変化をまずはしっかりと注視して参りたいと思っております。会務についてですが、総務委員長を拝命することになりました。会務執行に迷惑がかからないように、努めて参りたい所存でございます。

(総務 関根直輝)